

# 教育資料室だより

# 群馬の神楽

## 藤井龍人さんのアルバム



ふるさと桐生の民話

「神楽(かぐら)とは、神事の歌舞。宮廷などの御神楽(みかぐら)と民間の里神楽(さとかがら)に大別される。

起源は神を降臨させる際の神がかりの舞や、神とともに飲食歌舞するなどの神遊びに求められる。」と『日本史広辞典』

発行所  
桐生市教育資料室  
桐生市小曾根町  
1番9号(西小内)  
TEL: 0277-43-3171  
FAX: 0277-43-3171

(山川出版社)に述べられていますが、人が集団生活を始め、社会集団が構成されると、そこには共同の信仰が生まれます。「神様」をお迎えして神様と結びついて一つとなつて宴を催します。それが神楽。日本国内には何千もの神楽があるといわれます。

毎年十二月二十一日に三十三番もの神楽が夜を徹して舞われる宮崎県高千穂町の「高千穂夜神楽」。東北地方に多い山伏神楽の代表とされ国の重要無形文化財に指定されている、岩手県大迫町の早池峰

神社の「早池峰神楽」。これらは国内の代表的な神楽です。桐生市指定無形民俗文化財の加茂神社の神楽は「宮比講社の神楽」と呼ばれるもので、文化十二年(一八一五)に当時の神官飯塚伊豆正が発起したと伝えられています。式舞と狂舞ともに十二座、計二十四座あり、狂舞の「屑紙拾い三番叟」はユーモラスな独特な神楽です。昭和四十八年に「加茂神社太々神楽保存会」が組織され、現在も春秋の例祭の際に奉納されています。

川内町の白瀧神社の神楽も桐生市指定無形民俗文化財です。「神誠流大和太々神楽」と称されていますが起りには不詳ですが、面の大半が江戸

時代の作りと推定されています。川内地区に住む長男が継承してきました。戦後の一時継承が危ぶまれましたが、青年有志が古老から受け継ぎ、「神楽保存会」を組織しました。式舞五座、興舞四座の九座があり、毎年八月六日、七日の例祭に奉納されています。

日本郷土玩具の会員で、風の蒐集や広く民俗調査をされた藤井龍人さんは群馬県内の神社で奉納される神楽をカメラに納め、八冊のアルバムにまとめられました。その貴重なアルバムを桐生市郷土資料展示ホールに寄贈されましたが、現在は教育資料室で管理しています。是非手に取って御覧ください。

新田義貞公義挙の日に成りましたのでありますから、これをよく読んで偉人の徳を慕いその功績を偲んで、行いのお手本としていただきました。

桐生市内の東、西、南、北、昭和の五小

学校はこの五人の偉人を学ぶための教材に副読本『上毛の偉人』を編さんして刊行しました。「はしがき」に「わが桐生市小学校ではこの冊子によって明治節に皆さんにお領ちするこ

とに成りましたのでありますから、これをよく読んで偉人の徳を慕いその功績を偲んで、行いのお手本としていただきました。

一月二十三日 新島襄先生逝去の日  
二月 三日 塩原大助翁誕生の日  
三月十五日 高山彦九郎先生出郷の日  
五月 八日

市独自の郷土教育の教材でした。昭和十七年は紀元節の一回だけの発行で、打ち切りとなりましたが、太平洋戦争による諸事情のためと思われ

## 図書館のこと あれこれ 桐生市図書館概観から

群馬県内で最も早く開館したのは前橋図書館で大正五年九月、次いで高崎図書館が大正八年四月、



旧桐生市図書館

伊勢崎図書館は大正十年四月、太田金山図書館が昭和二年一月、館林図書館は昭和九年四月でした。

どうして小学校では世界史を教えないのでしょうか!

『現』学校の歴史科内容を日本史に限定し、「万国史ヲ授クルコトヲ要セス」と指示した。表向きは外国史の学習が子どもたちの理解力を超えるというのだが、実は尊皇愛国の育成を主目的とし欧米民主主義思想の導入を警戒したからである(『学校』とはじめの辞典) 小学校昭和六十二年十一月一日発行より。

設が議決されました。開館は同年十一月三日の明治節でした。翌十一年十一月に発行された『桐生市図書館概観』によると敷地は七百四十四坪、建物は総建坪百九十四坪で、本館二階建木造タイル張り、別館平屋建木造、書庫三階建鉄筋コンクリート造りとなつてい

蔵書数は昭和十一年十月十日現在で購入五千四百八十九冊、寄贈三千九十三冊、委託二十冊、合計八千六百二冊。織物工業に関する図書の充

桐生市図書館は昭和八年十二月二十三日皇太子殿下御降誕の御慶事奉祝記念事業として図書館建設が計画され、斉藤長平氏より寄付された小曾根町の五三〇坪の土地に、吉野喜代松氏や朝倉茂三郎氏ら多数の方々からの寄付金もあり、昭和十年一月の市議会で建

とに成りましたのでありますから、これをよく読んで偉人の徳を慕いその功績を偲んで、行いのお手本としていただきました。

一月二十三日 新島襄先生逝去の日  
二月 三日 塩原大助翁誕生の日  
三月十五日 高山彦九郎先生出郷の日  
五月 八日

市独自の郷土教育の教材でした。昭和十七年は紀元節の一回だけの発行で、打ち切りとなりましたが、太平洋戦争による諸事情のためと思われ

大正二年から昭和十七年まで二十九年間にわたって、元旦、紀元節(建国記念日)、天長節(天皇誕生日)の三大節ごとに三回、昭和十一年には明治節(明治天皇誕生日)が加わり四大節となり年四冊、『郷土の

校歴史書としての外国史書は姿を消すようになる。明治十四年(一八八一)文部省は小学校の「歴史」科内容を日本史に限定し、「万国史ヲ授クルコトヲ要セス」と指示した。表向きは外国史の学習が子どもたちの理解力を超えるというのだが、実は尊皇愛国の育成を主目的とし欧米民主主義思想の導入を警戒したからである(『学校』とはじめの辞典) 小学校昭和六十二年十一月一日発行より。

『現』学校の歴史科内容を日本史に限定し、「万国史ヲ授クルコトヲ要セス」と指示した。表向きは外国史の学習が子どもたちの理解力を超えるというのだが、実は尊皇愛国の育成を主目的とし欧米民主主義思想の導入を警戒したからである(『学校』とはじめの辞典) 小学校昭和六十二年十一月一日発行より。

設が議決されました。開館は同年十一月三日の明治節でした。翌十一年十一月に発行された『桐生市図書館概観』によると敷地は七百四十四坪、建物は総建坪百九十四坪で、本館二階建木造タイル張り、別館平屋建木造、書庫三階建鉄筋コンクリート造りとなつてい

蔵書数は昭和十一年十月十日現在で購入五千四百八十九冊、寄贈三千九十三冊、委託二十冊、合計八千六百二冊。織物工業に関する図書の充

桐生市図書館は昭和八年十二月二十三日皇太子殿下御降誕の御慶事奉祝記念事業として図書館建設が計画され、斉藤長平氏より寄付された小曾根町の五三〇坪の土地に、吉野喜代松氏や朝倉茂三郎氏ら多数の方々からの寄付金もあり、昭和十年一月の市議会で建

とに成りましたのでありますから、これをよく読んで偉人の徳を慕いその功績を偲んで、行いのお手本としていただきました。

一月二十三日 新島襄先生逝去の日  
二月 三日 塩原大助翁誕生の日  
三月十五日 高山彦九郎先生出郷の日  
五月 八日

市独自の郷土教育の教材でした。昭和十七年は紀元節の一回だけの発行で、打ち切りとなりましたが、太平洋戦争による諸事情のためと思われ

大正二年から昭和十七年まで二十九年間にわたって、元旦、紀元節(建国記念日)、天長節(天皇誕生日)の三大節ごとに三回、昭和十一年には明治節(明治天皇誕生日)が加わり四大節となり年四冊、『郷土の

とに成りましたのでありますから、これをよく読んで偉人の徳を慕いその功績を偲んで、行いのお手本としていただきました。

一月二十三日 新島襄先生逝去の日  
二月 三日 塩原大助翁誕生の日  
三月十五日 高山彦九郎先生出郷の日  
五月 八日

市独自の郷土教育の教材でした。昭和十七年は紀元節の一回だけの発行で、打ち切りとなりましたが、太平洋戦争による諸事情のためと思われ



関 孝和・新島襄・塩原大助

教育資料室利用御案内  
○西小学校裏校舎の二階、西の門から入ってください。  
○月曜日、金曜日の九時〜午後四時